



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2025

1

月号

Vol.167

毎月1回発行(通巻167号)
編集: 日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

謹賀新年

一般社団法人日本医療経営実践協会は、今年で設立15周年となります。現在の会員数は約1万2000人、累計受験者数は約7万人、累計合格者数は約2万8000人にのびます。新年を迎えるにあたり、代表理事の原勝則よりご挨拶を申し上げます。

地域を守る医療機関を 医療経営士が支える時代

協会設立15周年を迎え
会員の尽力に改めて感謝

新年、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

当協会が本年、設立15年目を迎えることができますのも、ひとえに医療経営士の皆さまが積み重ねてきた実践活動と、ご支援くださる方々のご指導、ご鞭撻の賜物であると存じます。心より厚く御礼を申し上げます。

「医療経営士1級」は、昨



原勝則
代表理事

年12月に第12回試験の合格発表があり、17人が合格されました。これにより、1級合格者は153人となりました。

「医療経営士2級」試験は昨年2回(第27回、第28回)実施し、606人が受験、177人が合格されました。受験者累計は1万166人となり1万人を突破、合格者累計は2822人となりました。

「医療経営士3級」試験は昨年3回(第41回、第42回、第43回)実施し、3004人が受験、1153人が合格されました。受験者累計は5万9334人、合格者累計は2万5081人となりました。

これだけの数の医療経営士の皆さまが全国で活躍されていることを大変嬉しく、また頼もしく感じております。

大きな時代の転換期を迎え
高まる医療経営士への期待

昨年12月には第13回「全国医療経営士実践研究大会」を2013年以来11年ぶりに九州・福岡の地で「医療経営士の働き方が病院を変革する——今、求められるマネジメント能力と具体的実践方法」をテーマに開催いたしました。私も代表理事として初めて参加させていただきましたが、病院経営の最前線における医療経営士の皆さまの活躍の一端にふれ、また全国から参加いただいた皆さまの熱気を肌で感じる事ができました。

医療経営士という資格を持った医療経営のスペシャリストの存在がこれからのわが国における病院経営には不可欠であると、改めて確信させていただいた次第です。

昨年から続く物価高騰のなか、人材や収入の確保など病院経営にとっても非常に厳しい状況が続いていますが、それぞれの医療機関は地域に不可欠な社会資源として医療サービスを提供し続けていかなければなりません。さらに地震や集中豪雨といった災害が頻発するなかで、医療機関は地域において機能を継続し、安全・安心の拠点としての役割を果たすことも求められます。

この困難に立ち向かい、国民の健康と暮らしを支える医療提供体制を保持するために、医療経営士に期待される役割はさらに大きくなるでしょう。

国内だけでなく国際状況も不安定ななかではありますが、皆さまの幸福とわが国の発展、そして世界の平和を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人日本医療経営実践協会 主催

人間力を生かした 在宅医療

講師 笹岡大史 先生

医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 理事長・院長

令和7年
新春特別
講演会



2025/2/1(土)~2/28(金)

WEBオンデマンド配信

参加費 医療経営士(会員)……無料

医療経営士の皆様には視聴用アドレスを送付します

ささおか・たいし ●医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 理事長・院長。医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医。1989年北里大学医学部卒業。大学病院にて循環器内科部長、介護施設長を経たのち、精神科病院で内科医師として勤務。診療経験は小児科から内科まで幅広く、大学院では経営管理研究科で介護医療制度や経営管理についても学んだ。2018年、これまでの多様な経験を生かすため、在宅診療所を開業。近著に『現場で使えるケアマネの医療知識便利帖』(翔泳社/監修・執筆)。

医療の現状、今後について学んだことを 自施設内に還元していきたい

齊藤 久さこ 氏

国立さくら病院
医師

子 どもの通塾をきっかけに自分も資格試験に取り組もうと考えました。その中で医療経営士の資格を知り、受験を決めました。年1級ずつと決め、3年がかりで取り組みました。

1級合格に向けた取り組みを通じて、テキストはもとより厚生労働省の地域医療構想などの資料などさまざまな資料から現状、今後について学ぶことができました。試験は記述なので、それらの資料を元にどのような医療を目指すか自分自身の考えを伝えられるようになると思います。

資格を取得するという当初の目標は達成されましたが、せっかく1級まで取得できましたので、まずは自施設内で取り組みたいと思います。

マネジメントに関心を持つ人材を増やし 実践できる事務職員の育成に努めたい



田中 大貴 氏

社会医療法人抱生会丸の内病院
診療部診療支援課 係長

日 々の業務や勉強会等での学びを整理し、提案する力を身につけたいと感じたことが1級試験に挑戦したきっかけでした。知識の応用と発想力が求められる論述形式の試験は、要点を捉えることが苦手な自身の弱点を鍛える最適な機会でした。試験では情報の引き出しを整理し、伝えることの難しさを痛感しました。知識を持っていても、それをシンプルに表現できなければ時間配分が難しくなります。専門的な言葉を多用せず、分かりやすい回答を作成する力を身につけることが合格への近道です。

今後はマネジメントに関心を持つ事務職員を増やし、企画に繋がられる人材を育てていきます。結果を突き付けるだけでは組織のモチベーション低下を招き、課題解決ができません。現場と共に考え、実践できる事務職員の育成に努めてまいります。

一歩先を見据えた情報提供、課題提起で 地域の医療体制安定に貢献していく



玉井 裕康 氏

株式会社伊予銀行
法人コンサルティング部 課長代理

診 療報酬の改定や地域医療構想、人材不足などさまざまな要因により病院経営は変化しています。生き残りをかけて奮闘している医療機関に対して、経営状況を高次な視点で捉え、課題解決を支援できるようになりたいと考え受験に至りました。

医療経営士1級の受験を通じて、医療経営を体系的に理解することができました。特に、病院組織の仕組みやマネジメントの方法、地域にとって最適かつ持続可能な医療体制とはどういったものかなど学ぶことができました。

今後は医療経営士1級の資格保有者として、地域にとって安定した医療体制を築くべく、医療機関への一歩先を見据えた情報提供、課題提起を発信し、理事長、病院長等が最適な意思決定をするサポートをしていきます。

他施設の医療経営士との協働によって 医療介護界の荒波を乗り越えていきたい



伊藤 勝彦 氏

医療法人みらい会
管理部 主任

医 療経営士の取得は勤務先法人の理事長から受験を勧められたのがきっかけです。3級受験時から最終的には1級まで取ろうと決めていたので、順番に挑戦しました。昨今の診療報酬・介護報酬改定は複雑になってきています。医療経営士合格に向けた勉強を通して、全体の流れを俯瞰して見ることができると思います。「自分の勤務先ではこのような患者が増えてくるな」等が見えてくるので、経営者に適切なアドバイスができるようになると思います。

医療・介護業界は増加する医療費・介護費と増加する利用者、限られた医療資源のはざまに荒波にいるような感覚です。自施設だけでは対応に限界があるので、他施設や他の医療経営士と情報交換、協働し、この難局を乗り越えていきたいと考えています。

自施設の経営・業務改善とともに 支部活動も盛り上げていきたい



上村 修二 氏

札幌医科大学医学部病院管理学 准教授
(経営戦略室副室長)

も ともと救急医で社会医学系活動もしていましたが、5年前に北海道病院経営アドミニストレーター育成プログラム(HUHMA)を受講、残りの医師人生20年間で2040年問題の課題解決に貢献したいと考え、病院経営と医療政策の勉強と実践を始めました。自分の知識は特定機能病院と救急医療を取り巻く現状に限定されていたので、試験のためには医療介護体制全体の知識を整理する必要性がありました。医療政策にも興味がある自分にとっては良い機会になりました。

1月の救急医学講座から病院管理学への異動に伴う自施設の経営・業務改善の実践に加え、昨年新たな組織として北海道支部に医療経営士実行委員会が設立され委員長を拝命したので、北海道内の医療経営士を盛り上げ普及する活動を行ってまいります。

さまざまな医療課題の解決に取り組む 医療界にさざなみを起こせる存在へ



神崎 剛 氏

東京慈恵会医科大学
腎臓・高血圧内科 助教

能 登半島地震でのJMAT派遣活動を通じて地域医療の課題や医療機関運営の複雑さを実感し、医療提供体制全体を俯瞰的に捉える必要性を痛感。より広範な「医療」という視点からの学びを得たいと思い、資格取得に挑戦しました。学習を通じて医師としての自身の在り方を見つめ直す機会を得ました。多職種との交流を通じて医療を多角的に捉える視座を得られたことは、大きな収穫でした。後進の方々も、必ずや新たな気づきを得られると思います。

現代の医療課題の解決には多職種間の緊密な連携が不可欠です。課題解決に向けた協力体制構築に尽力するとともに、日本医療の展開を世界に発信していきたいと考えています。医療経営士として、現場での実践や政策提言を通じ、医療界に新たな「さざなみ」を起こせる存在となることを目指します。

第12回 「医療経営士1級」 資格認定試験 17名の合格者が誕生！

1級合格者が見据える 次なるステップに期待

2024年12月24日(金)に第12回「医療経営士1級」資格認定試験の合格発表が行われ、新たに17名の合格者が誕生。これまでの累計合格者数は153名となった。今回新たに難関を突破した方に、1級を受験した経緯、そして合格して見えてきた次なるチャレンジについてアンケートを実施、回答いただいた16名の声を紹介する。

幅広い視点から最新の情報を活用して 医療経営士1級にふさわしい存在に



浅野 秀朗 氏

国家公務員共済組合連合会虎の門病院
職員課・働き方改革推進室
人事労務専門役

医 療経営士の資格は、初めて勤務した医療機関の理事長に紹介されました。人口減少が進む中で、全体を俯瞰し幅広い視点を持つ事務職が必要だと考え、今の実力がどの程度なのか確認する意味も含めて最上級資格にチャレンジしました。情報を素早くキャッチし、それをどう生かすかが重要であることを改めて感じました。以前の職場の同僚からの協力も大きく、常に最新の情報を収集することを意識しました。収集した情報をどのように利用するかを考えることで、知識の幅が大きく広がります。皆さんもぜひチャレンジしてください。継続は必ず力になります。資格取得により、多くの人と繋がることができました。同じ悩みを持つ方が多いので、その橋渡しとともに、人材育成にも携わり、私も含めた事務職員全体のレベルアップが図れればと思います。

経営と医療の関わりへの関心を高め 医療・医療経営の現場との接点を増やす



古川 孝之 氏

個人事務所 代表

医療経営士2級を取得後、医療経営士1級に合格したいと思うようになりました。経営学と医療との関わりに興味を持ったことも受験のきっかけです。

合格に向けた学習を進めていくなかで日常的に医療に関心を持つようになり、医療のキーワードをすぐに検索するクセが付きました。

今後は、医療経営者とお話する機会、医療の現場と接する機会を増やしたいです。

医療機関の経営効率の向上に努めながら 地域医療のレベルアップの実現を目指す



吉山 信太郎 氏

第一三共株式会社埼玉医薬営業部
営業所長

業界の複雑な問題に対して体系的な解決策を提供できるスキルを得たいと考え、1級試験にチャレンジしました。より広い視野で業界に貢献できること、将来の目標に向けて必要なステップとして取り組みました。

1級取得を通じて、医療機関の経営課題に対する視点が広がりました。これから目指す方には、理論を実際の課題にどう適用するかを考えながら学ぶことをお勧めします。時間をかけて着実に知識を深めていくことが大切です。

今後は得られた知識・スキルをもとに医療機関の経営効率を高め、より良いサービス提供ができる環境づくりに貢献していくとともに、製薬企業の立場からできる活動による地域医療のレベルアップを実現したいと考えています。

厳しい経営状況を乗り越えて 安定した経営を追求していく



和田 明 氏

医療法人社団亮正会総合高津中央病院
CE部 副部長

病院がコロナ以降経営不振となり、ボーナスカットなどを経験し部下のモチベーションが下がるなか、なんとか病院を立て直し、働きやすい職場にしていきたいと思ったことが1級試験の受験を目指すきっかけでした。

経営トップと共通言語を持つことは大変重要で、現場の知識を持つ医療従事者が経営に精通することで、より現場の意見が通りやすくなったと思っています。経営主体を現場中心とするため、皆さん頑張ってください。

1級に合格し、新たにスタートラインに立った気分です。今後も医療経営の知識を深め、いかに地域に寄り添った医療ができるか、いかに安定した経営を行っていくかを追求していきたいと考えています。

医療機関の課題解決への貢献を目指し 社内の医療経営士増加にも取り組む



人見 敏広 氏

エムスリーキャリア株式会社
医師常勤紹介グループ エキスパート職

受験のきっかけは専門性向上のためです。民間企業に所属する私にできることは、医療機関様の課題を共有し、その解決支援をすること。医療機関様と近い視座でコミュニケーションを取るために1級の資格取得が必要と考え、チャレンジしました。「医療経営士1級」と聞くとハードルが高いと感じる方もいるかもしれませんが、かく言う私もその一人でしたが、学習を始めると断片的な知識が繋がり、前向きに取り組むことができました。少しでも関心がある方は、是非チャレンジしてほしいと思います。

今後は医療機関様の人・組織の課題に対して弊社内の資源、自身の経験・知識を活用して、少しでもお役に立てるように努めていきます。さらに、弊社内の人材育成の観点で、医療経営士1級、2級取得者を増やせるように支援したいです。

医療従事者との対話を大切に 製薬企業としての貢献を考え続ける



深澤 達 氏

第一三共株式会社
九州医薬営業部
九州南オンコロジー営業所

MRとして医薬品や疾患に対する課題は医療制度、医療経営と密接に結びついていることを感じました。医療従事者から信頼を得るためには、包括的かつクリティカルな医療経営の知識習得が必要であると確信し、最上位級の1級受験を決意しました。受験を通じて、現行の医療制度が本当に緻密なバランスの上に成り立っていることが理解できました。自社、業界の利益を主張するだけでなく、日本国民の健康増進という目標を達成するために、製薬企業に何ができるのかを考えるきっかけとなりました。

受験を通して得た知識、経験を所属組織に還元し、製薬企業がどのように医療機関と協業しながら患者さんに貢献できるかを考え続けます。そのために1級の資格取得に満足せず、さらなる知識研鑽と医療従事者との対話を大切にしていきたいです。

国が考える医療の将来像を踏まえて 医療機関のこれからを支えていく



富士本 正 氏

富士本社会保険労務士事務所

医療経営士」という資格があることを知ったのは、令和5年12月、医療関係者のグループの忘年会でした。面白そうだと思い、翌年2月に3級を受験しました。後は流れで6月に2級、9月に1級一次、12月に1級二次を受験しました。

医療全体について、医療の将来について、医療機関は今後どうあるべきか等について、考えを巡らせるようになりました。合格に向かって勉強する、目標に向かって行動できた、楽しくも、有意義な1年となりました。

地域医療構想を読めば、国が考える医療の将来像がわかります。令和6年度の診療報酬改定はそれが如実に表れた形でした。それらを踏まえ、医療機関が今後生き抜いていくためにどうすればいいのか等について、ご支援をしていきたいと思います。

常に知識のアップデートをしながら コンサルタントとして病院経営に貢献



長田 浩幸 氏

エムスリーキャリア株式会社
経営支援事業部経営支援グループ
戦略推進チーム

病院経営コンサルタントとして10年間以上病院経営に携わってきましたが、経営改善に関する業務以外の病院経営の知識を学習する場があまりなく、医療経営士の取得を通して体系的に学ぶことができました。1級試験は論文記述や口頭試問等、2級までの選択肢式とは大きく異なります。ただ知識としての解を導くだけでなく、明確な回答がない課題に対しても自分で文章を構成し、相手に伝えるために思考することは実務でも非常に役に立っています。

コンサルタントという仕事は常に知識のアップデートと経験が求められますので、引き続き学習を続け、クライアントに貢献してまいります。また特に医療機関に勤務されている方はプレゼンテーションに苦手意識があると思うので、医療経営士を受験されようとする方への指導等もできればと思います。

1級受験を通して学んだ知識を活かし 具体的な成果を出せる1年に



中村 大 氏

医療法人社団久福会関野病院
事務部事務部長

当院の関野久邦理事長／院長より、事務職のキャリアアップに資する優れた資格である医療経営士について推薦を受けたことが契機となりました。調べを進め、病院事務職に必須の知識、思考力が体系的に習得できることが分かり、受験を決意しました。

資格取得に向けた勉強を通じ、断片的であった自身の医療に関する知識が体系的に整理され、実践的知識が身につくことで自院内での実務解決能力の向上を実感できました。病院事務に限らず、医療に関わる全ての方への資格取得をお勧めします。

物価の高騰、慢性的な人材不足等により病院経営が厳しさを増している今だからこそ、現状打破に向けた医療経営士への期待が集まっていると感じています。本年は医業収益増収、コスト適正化、人材育成を重点に学んだ知識を存分に役立てたいと考えます。

医療現場におけるミスマッチの改善に向け サービス提供のスピードアップに努める



柳 浦一博 氏

富士通JAPAN株式会社
ヘルスケアシステム事業部
シニアディレクター

私はITベンダーに勤務しています。これまでは主に電子カルテを中心とした病院情報システムの導入に注力してきました。しかし、近年の厳しい病院経営環境に接し、もっとITで貢献できることがあるはずと考え、資格取得に取り組みました。

医療経営士の学習を通して病院の収益改善のみならず、医療の質の向上、患者体験の向上、そして働く人たちの満足度向上、これら全てを高いレベルで実現することが重要と理解しました。これから合格を目指す人も広い視点を持って取り組んで下さい。

現在の日本は少子高齢化や各種規制による労働制限など、必要とされる医療需要に対し医療提供が追いつかないHuge Mismatchが発生しています。早くこれを改善するため、ITベンダーとして新サービス提供のスピードアップを目指します。

事務局 掲 示 板

2025年度試験日程が決定！
実施概要は協会HPで順次公開

2025年度の試験日程が決定しました。3級、2級、1級の資格認定試験を下記のとおり実施します。上位資格を目指す多くの皆様からのエントリーをお待ちしています。職場でもぜひご紹介ください。

「医療経営士3級」資格認定試験		
試験回	実施日	エントリー開始
第45回	6月15日(日)	4月上旬予定
第46回	10月19日(日)	8月上旬予定
第47回*	2026年2月15日(日)	12月上旬予定

※IBT試験

「医療経営士2級」資格認定試験		
試験回	実施日	エントリー開始
第29回	6月15日(日)	4月上旬予定
第30回	10月19日(日)	8月上旬予定

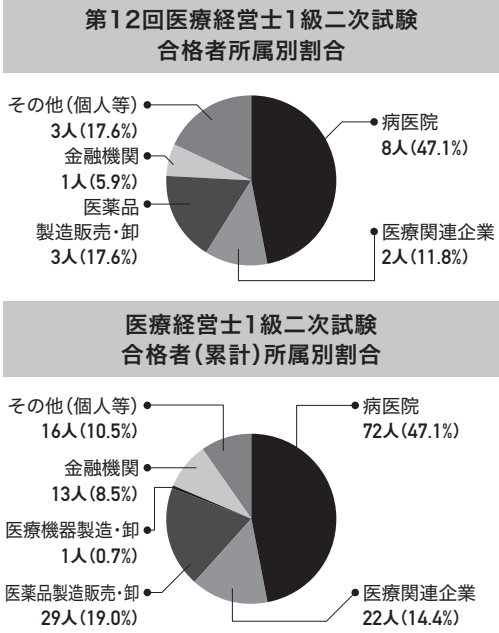
「医療経営士1級」資格認定試験		
試験回	実施日	エントリー開始
第13回(第一次)	9月7日(日)	7月上旬予定
第13回(第二次)	12月7日(日)	—

TOPICS

第12回「医療経営士1級」資格認定試験【第二次試験】
17人が合格、累計の合格者数は153人に

一般社団法人日本医療経営実践協会は2024年12月24日（金）、第12回「医療経営士1級」資格認定試験【第二次試験】（同12月8日（日）実施）の結果を発表、第一次試験の合格者22人が受験、17人が合格した（合格率77.3%）。累計の合格者数は153人となった。合格者17人は昨年の16人を上回り過去2番目の多さとなる。

合格者の内訳を見ると、病医院所属が8人（47.1%）と最も多く、医薬品製造販売・卸およびその他（個人）が3人（17.6%）と続いている。前回合格者の出なかった医療関連企業では今回2人（11.8%）が合格した。累計で見ても病医院所属の方が最も多く5割弱を占めており、これまでと大きな差異は見られなかった。



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
2月7日(金)	九州	医療経営士南九州支局研修会 慢性期医療の課題と今後の展望～「治し支える医療」に求められる病院経営戦略について～	橋本康子氏(日本慢性期医療協会会長、医療法人社団和風会理事長、社会福祉法人徳樹会理事長、社会福祉法人福寿会理事長)
2月19日(水)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第4回「病院経営戦略の策定と実行を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
2月21日(金)	本部後援	医療機関の情報セキュリティ対策オンラインセミナー2024～医療DX・診療報酬加算を踏まえたセキュリティ対策～	山下貴範氏(九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター講師)ほか
	北海道	第12回道北医療経営ネットワーク「組織はチームで変えられる、新しいチームの可能性」	上村修二氏(札幌医科大学医学部病院管理学准教授、医療経営士1級)
2月22日(土)	東北	第3回医療経営士実践研究大会東北支部大会 医療経営士の働き方が病院を変革するin 仙台	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)ほか
3月19日(水)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第5回「病院経営の改善手法を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

さらなる飛躍を目指し、新たな一步を踏み出そう！
法人正会員一同、医療経営士の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

- 税理士法人アズール
アムジェン株式会社
アルフレッサ株式会社
英城県厚生農業協同組合連合会
ウエルサイドコンサルティング株式会社
医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
医療法人社団永生会
エーザイ株式会社
株式会社エスアールエル
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社エムステージ
大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場
社会保険労務士法人オフィス結い
株式会社オールウェイズメディカル
社会医療法人加納岩
株式会社九州医事新報社
日本赤十字社岐阜赤十字病院
九州東邦株式会社
税理士法人グローアップサポート
社会医療法人敬愛会
株式会社幸耀
コンパッソ税理士法人
シオエ製薬株式会社
四国アルフレッサ株式会社
株式会社システムクレオ
医療法人徳洲会吹田徳洲会病院
株式会社スズケン
スリーロック株式会社
スルガ銀行株式会社
株式会社セイエル
株式会社ソラスト
株式会社大黒
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
第二共株式会社
株式会社大東銀行
辻・本郷税理士法人
ティーエスアルフレッサ株式会社
医療法人寺尾会
東七株式会社
東邦薬品株式会社
東北アルフレッサ株式会社
東和薬品株式会社
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
弁護士法人TLEO虎ノ門法律経済事務所
株式会社日医リース
日本薬科大学
日本新薬株式会社
東日本税理士法人
光製薬株式会社
株式会社ブレアデスセブン
ベンデル税理士法人
株式会社ホギメディカル
医療法人社団奉志会
マグミット製薬株式会社
明祥株式会社
株式会社メデイowell
メデイカルインフォマティクス株式会社
株式会社メルマック
山下医科器械株式会社
株式会社八神製作所
株式会社ユヤマ
株式会社レスメッド
医療法人徳洲会六地蔵総合病院
株式会社Work Vision
- 税理士法人アズール
アムジェン株式会社
アルフレッサ株式会社
英城県厚生農業協同組合連合会
ウエルサイドコンサルティング株式会社
医療法人徳洲会宇治徳洲会病院
医療法人社団永生会
エーザイ株式会社
株式会社エスアールエル
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社エムステージ
大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場
社会保険労務士法人オフィス結い
株式会社オールウェイズメディカル
社会医療法人加納岩
株式会社九州医事新報社
日本赤十字社岐阜赤十字病院
九州東邦株式会社
税理士法人グローアップサポート
社会医療法人敬愛会
株式会社幸耀
コンパッソ税理士法人
シオエ製薬株式会社
四国アルフレッサ株式会社
株式会社システムクレオ
医療法人徳洲会吹田徳洲会病院
株式会社スズケン
スリーロック株式会社
スルガ銀行株式会社
株式会社セイエル
株式会社ソラスト
株式会社大黒
武田薬品工業株式会社
田辺三菱製薬株式会社
第二共株式会社
株式会社大東銀行
辻・本郷税理士法人
ティーエスアルフレッサ株式会社
医療法人寺尾会
東七株式会社
東邦薬品株式会社
東北アルフレッサ株式会社
東和薬品株式会社
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
弁護士法人TLEO虎ノ門法律経済事務所
株式会社日医リース
日本薬科大学
日本新薬株式会社
東日本税理士法人
光製薬株式会社
株式会社ブレアデスセブン
ベンデル税理士法人
株式会社ホギメディカル
医療法人社団奉志会
マグミット製薬株式会社
明祥株式会社
株式会社メデイowell
メデイカルインフォマティクス株式会社
株式会社メルマック
山下医科器械株式会社
株式会社八神製作所
株式会社ユヤマ
株式会社レスメッド
医療法人徳洲会六地蔵総合病院
株式会社Work Vision